

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 株式会社阿波銀行（証券コード:8388）

### 【据置】

長期発行体格付                      AA-  
格付の見通し                        安定的

### ■格付事由

- (1) 徳島市に本店を置く資金量3兆円の地方銀行。県内の預貸金シェアは高く、事業基盤は強固である。加えて中小企業融資に特化したビジネスモデルを活かし、関東・関西エリアでも着実に業容を拡大させている。JCRでは、厳しい事業環境の中で比較的高い収益性と良好な資本充実度を維持している点を評価している。コア業務純益（投資信託の解約益を除く。以下同じ。）を改善させ、与信費用等の増加に対する余裕度を高めていくことが格付上のポイントである。
- (2) 低金利環境の常態化で収益性は低下傾向にあるが、21/3期上半期のROA（コア業務純益ベース）は0.3%台後半と他の有力地銀と比較して良好である。コア業務純益は新型コロナウイルス感染症対策の融資の伸長や外貨調達コストの減少により前年同期を上回り、通期でも前期並みを維持できる見通し。店舗統廃合やBPRによる人員再配置で営業力を強化しており、貸出残高は中小企業向けを中心に引き続き堅調に推移するとみられる。また、非金利ビジネスでは、法人ソリューションの強化の成果がみられるうえ、野村証券との金融商品仲介業務における包括的業務提携の効果が中期的に収益に結び付く可能性もある。こうした収益改善の要素により、基礎的な収益力を高めていくことができるかJCRはフォローしていく。
- (3) 金融再生法開示債権比率は、20年9月末2%台前半。与信費用は落ち着いた水準が維持されているが、中小企業融資のウェイトが高く景気後退局面において膨らみやすい。21/3期上半期の与信費用は前年とさほど変わらない水準だが、コロナ禍においては債務者区分の下方遷移が想定以上に発生する可能性もあり、当面の動向を注視する必要がある。有価証券運用では円建債券への投資を抑制する一方、外貨建債券と投資信託への分散投資を継続し収益を確保している。国内外債券の金利リスク量に大きな変化はみられず、資本対比で抑制された水準が維持されている。株式の価格変動リスクは資本対比で大きいだが、20/3期第4四半期の金融市場混乱時における損失額は限定的であった。今後も過度なリスクテイクは行わない方針であり、適切に市場リスクをコントロールしていくことは可能とみられる。
- (4) 貸倒引当金などを控除した調整後の連結コア資本比率は、20年9月末10%台後半。自己資本はリスクバッファーとして十分な厚みがある。今後も着実な利益蓄積により、AAレンジとして問題のない資本水準が維持されるとJCRはみている。

（担当）坂井 英和・南澤 輝

### ■格付対象

発行体：株式会社阿波銀行

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA-	安定的

## 格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2020年12月2日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：松村 省三  
主任格付アナリスト：坂井 英和
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「銀行等」(2014年5月8日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) 株式会社阿波銀行
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCR に対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会が定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル